

放課後子供教室

放課後の子どもたちの居場所づくり

見守りボランティア
を募集しています!

放課後の児童の安心・安全な居場所づくりを目的に小学校で放課後子供教室を開設しています。

支援員と見守りボランティアの方々の協力のもと、子どもたちは宿題や自主学習、読書、折り紙など有意義な時間を過ごしています。

月に一度、地域の方々をお招きしての体験活動を行い、地域の方々との交流の機会にもなっています。

毎月の体験活動



みんなで宿題



◀スクエアステップ
(講師：金澤芙美子さん)



作って遊ぼう
(ふれあいエスポ)



人形劇
(梅の宮母親クラブ)



勉強が終わり次第、オセロやあやと



☎生涯学習課生涯学習係 ☎022-355-2885

「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」

しおがま「学びの共同体」による授業改善

文部科学省は、主体的・対話的で深い学びの視点から「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」も重視しています。そのような授業を目指し、市内の小中学校で「学びの共同体」による授業改善を行っています。

- 一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業
- 見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業
- 周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- 自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業



4人グループでの学び合い

それらの実現のために「学びの共同体」では、「共有の学び」(理解中心)と「ジャンプの学び」(探究中心)の2つのステージで学びをデザインします。児童生徒がチャレンジしたくなるような高い課題(ジャンプ課題)を探究することが特徴で、ペアや4人グループになって友達と多様な考えを交流しながら取り組みます。児童生徒は「探究」と「協同」の学びを通して、生き生きと楽しく学びに向かっています。



教員4人グループの振り返り

授業研究会では、教員も4人グループで振り返りを行っています。

これからも「探究」と「協同」の学びを大切にしながら、すべての子どもたちの「社会をたくましく生き抜く力」を育てます。

☎学校教育課学習支援係 ☎022-365-3216